

研究課題：小児期発症てんかんの脳波所見と神経学的予後にに関する研究

1. 研究の目的

脳波記録を用いて小児期発症てんかんの神経学的予後（治療反応性や神経発達予後）を評価することを目的とします。

2. 研究の方法

1983年1月から2025年4月までに当センター神経科において小児期発症てんかんに対して治療を行った患者さんが対象となります。診療録を元に下記の臨床情報まとめ、後方視的に研究を行います。

3. 研究期間

倫理委員会承認後～2029年12月までの期間。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を元に、性別、年齢、既往歴、家族歴、身体所見、発作症状、併用薬、血液/尿/髄液検査結果、画像検査結果、生理機能検査結果、治療効果、有害事象、神経学的予後（神経発達・治療反応性など）の情報を調べます。その後、脳波所見とその他の臨床所見を組み合わせ、神経学的予後を予測できるか検証します。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがあります、患者さんの名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：神経科	科長	菊池健二郎
実施分担者：保健発達部	医長	小一原玲子
神経科	医長	松浦隆樹
神経科	医長	平田佑子
神経科	医長	代田惇朗
神経科	レジデント	大庭梓
神経科	レジデント	堀田悠人
神経科	研修生	浜野晋一郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）